

三心を磨く

学校だより NO. 34
平成30年 9月25日(火) 発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久 教頭
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

第2回 学校運営委員会より

第2回学校運営委員会が、9月13日(木)に行われました。当日は、上半期の各種アンケートや検査の結果、部活動やPTA活動などについてご意見や感想をいただきました。

【学校からの報告にかかわって】

◇「縦割り活動」とは、具体的にどんなことか？

中学校の活動は、学年ごとに動くことが多くなりがちなので、本校では、1年生から3年生まで、学年の枠を超えた縦の関係を大切に、2つのグループに分け、合唱や収集活動、チャレラン等と一緒に活動したり、回収活動の集計を合算したりして、縦割りのグループごとの取組を増やし、互いが高め合っている。



視聴覚室で行われた学校運営委員会の様子

◇募金や災害時の活動の話があったが、青少年赤十字(JRC)の活動はどのようにしているか？

本校は生徒会にJRC交流委員会があり、須坂荘訪問などのボランティア活動を行っている。これはJRC活動の一環であり、福祉や人権学習関係の活動の中心になって活動している。

また社協の皆さんと連携して、総合的な学習の時間に炊き出し体験を行ったり、全県規模で行われているJRCトレセンに代表生徒が参加したり、それらの様子を東祭で報告したりしている。

ただし、最近はJRCの活動が長野県内では、須坂市だけの活動になりつつあり、残念である。

【委員の皆さんのご指摘やご発言の内容から】

◇大人は、地域で奉仕活動やボランティア活動、募金などを行っている。JRCの活動や福祉の活動は、卒業しても大切なことである。日本赤十字は、災害時にも信頼できる。人権・平和学習、そしてJRCの活動が子どもたちの生き方の中に位置付けてほしいと思う。

◇現在、長野県内でJRCに全小中学校が加盟しているのは須坂市だけだ。また、差別をなくすための市民大集会に、学校やPTAの発表があるのも須坂市だけである。これらは素晴らしい活動であるが、外部から見ると学校の負担にもなっているように感じている。

◇町別人権学習会への職員の出席は、年に1回ずつになったが、土曜や祭日であったり、勤務時間外に設定してあったりで大変である。文部科学省の方針もあり、教職員の働き方改革といわれているので、われわれも協力できるところは協力していきたい。

◇コスモス街道の活動について、生徒たちの意気込みやコスモス街道を「誇り」にする気持ちはよくわかるが、生徒減による作業量の増加、酷暑による水やりへの負担、職員が夏休みを返上して水やりをしているのはおかしい。地域ボランティアさやっていたり、遠いコスモス街道で無く、近くで活動ができるようにしたりするなどの工夫も必要だと思う。

◇コスモス街道の活動に地域の力もという話があったが、現実には難しいように思う。かつて、東中学校に勤務していたので、コスモス街道への思いは私も深い。現在、国道沿いに花を育ててい

る「花いちもんめの会」という団体に私も加入し、活動をしているが、会員が減ってきていて、学校にも協力することはかなり厳しい現状である。

- ◇現学校長が赴任したこの3年間で、「学力の向上」が数値となって出ている。また、清掃も充実して新校舎ができた20年前の美しさが保っている。さらに夏休みの補習の実施は、須坂市内の中学校では東中学校だけだと思う。仁礼小学校でも、夏休みの学習相談があったが、プールのあとに学習を設定していたが、あまり子どもが来なかった。こういった部分で小中が刺激し合って交流していたらよいのではないか。



- ◇豊丘でも、クリーンセンターの前で老人会が花作りをしていたが、今や老人会ではできなくなり、生涯学習センターの3人でやっている。手伝ってみたが、経験してその大変さがわかった。花作りは、初めからやらなければ「きれいだな」で終わってしまう。自分が関わってみると、やらなければ枯れてしまうことがわかってくる。学校と地域とが、花作りでつながれるとよいのだが…
- ◇妻が、東中学校の「斜面」の添削ボランティアをしている。継続していると、生徒たちが成長していることがわかると言っている。「社会性が広がった」「視野が広がった」とも言っている。



この取組はぜひ、継続して行ってほしい。

- ◇東祭に向けての重点に、清掃が入っている。清掃をじっくりとやっている则心が磨かれてくる。とてもよい取組である。また、「縦割りの活動」も充実している。異年齢で関わることはとても大切なこと。他の人の立場や思いを考え、思いやるようになれる。

- ◇東中の生徒のあいさつはとても気持ちがいい。そういう「心」の部分が大切であり、道徳性も育ってきている東中学校だと思う。大変素晴らしい。

「学校運営委員会でプレゼンをする役員」

- ◇東中は、生徒数は少なくなってきたが、よい学校になってきている。全国学力調査で100%正解の漢字の問題があったのはすばらしいと思う。しかし、「100%」だけでは、図れない価値もあると思う。東中の先生たちは、そういう生徒のことも分かっていると思うが、そういう生徒を大切にしてほしい。東中の生徒のあいさつの気持ちよさや、今の安定した校風は、そういった生徒を大切にしているからだと思う。これからもよろしくお願ひしたい。
- ◇全国学力・学習状況調査の結果が出ているが、「数学B」に課題があることが分かる。学校体制で取り組んだ「プリント学習」「補習」などでA問題の結果は確実に向上しているが、B問題ではさらに「考えさせる」ことが必要である。今後は、もう少し踏み込んだ学習をし、そこを克服することで、東中のさらなる底上げができると思う。期待している。

○今回も学校運営委員の皆さんには、生徒や職員の立場になって考え、ご発言いただきました。

- ・コスモス街道の作業については、生徒も地域も東中の大切な活動、「誇り」としてとらえて活動していることですが、ご指摘の通り、生徒数の減少や交通安全の視点からも加味して考えてまいります。
- ・学力向上については、成果を感じつつもまだまだ志半ばであることから、多様な生徒たちの個性と向き合い、自信をもってさらなる授業改善・生徒支援に努めてまいります。また、これまで同様「あたり前のことがあたり前にできる姿」を大切に、生徒たちに問うてまいります。ありがとうございました。